

研究情報

県産畜産物の販売を支援する取り組み

当所では、県産畜産物の消費を拡大するため、畜産物に様々な付加価値を付与する研究をしています。今まで実施してきたアンケート調査結果から、神奈川県産畜産物に魅力を感じている消費者層が一定程度いることがわかりました。しかし、その消費者が畜産物の産地にどれくらい価値を感じているのかはわかりません。そこで、今回の調査では、神奈川県産鶏卵に対する特徴と価格の関係について調べてみました。

調査は、インターネット調査会社に登録している神奈川県在住の30～60代の女性（2,394人）から、鶏卵の購入に関するアンケートを実施しました。

アンケート調査は、選択型コンジョイント分析※で実施しました。鶏卵の産地、特色（卵黄色）、価格を組み合わせた3つの仮想商品とどれも買わないの中から1つを選択する設問（図1）を変えて一人

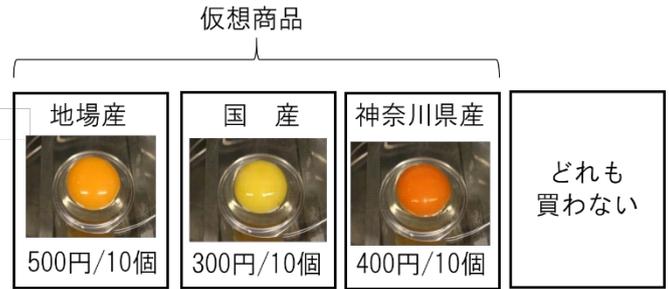


図1 アンケートの設問例

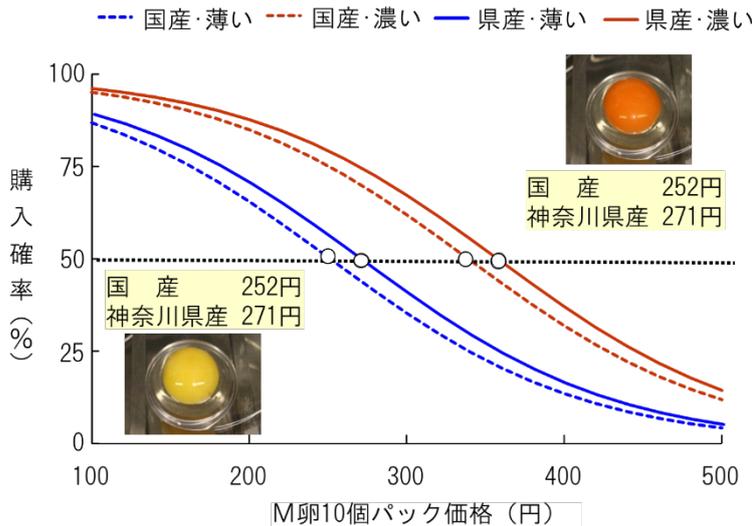


図2 神奈川県産と国産鶏卵の比較

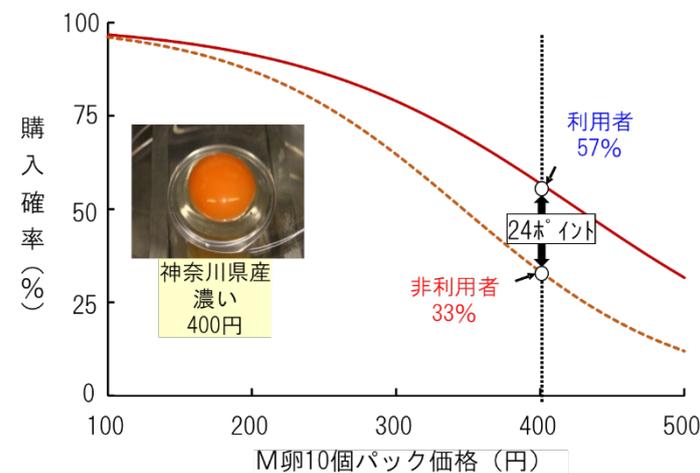


図3 直売所利用の有無による比較

8問ずつ回答しました。この回答結果から品質に対する、購入価格と購入確率の関係を分析しました。

商品の購入確率は、価格が100円の時最も高く、価格が高くなると低下しますが、産地、特徴の組み合わせにより異なります（図2）。神奈川県産と国産を比較すると、購入確率が50%の場合、卵黄色が濃い場合と薄い場合ともに**神奈川県産は国産に対してプラス19円の価値を消費者が認めている**ことがわかりました。また、卵黄色の特徴では、濃い卵黄色は薄い卵黄色に対して**プラス87円の価値を認めていました**。

次に、調査対象者を農産物直売所を利用している人（利用者）と利用しない人（非利用者）とに分けて比較しました。卵黄色が濃い、神奈川県産、価格が400円の商品の購買確率は、利用者では57%、非利用者では33%であり、利用者が24ポイント高くなり、**直売所を利用しているの方が神奈川県産の購買確率が高くなりました**（図3）。

このように、県内の消費者は、畜産物を購買する場合、神奈川県産であることを高く評価し、直売所を利用する人はその傾向がより大きいことがわかりました。

今後、県産畜産物の消費拡大にとどまらず、このようなマーケティング手法を活用し、直売所などでの新商品の価格の決定などにも活用していきたいと思っております。

※選択型コンジョイント分析：最適な商品コンセプトを決定するためのマーケティング手法の一つ。

## イベント情報

# 家畜人工授精師養成講習会が開催されました

7月19日～8月18日に、牛を対象にした家畜人工授精師養成講習会が開催されました。通常は2年ごとに開催されていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため、4年ぶりの開催となりました。講習会は、前半の学科は東京農業大学厚木キャンパス、後半の実習は畜産技術センターで実施しました。実習の講師は、当所の職員その他、家畜保健衛生所の職員、畜産課の職員が担当しました。

受講生は12名で、畜産農家の後継者のほか、県内牧場の従業員、団体職員、農業高校生など、これからの県内の畜産を担う人材が家畜人工授精師の資格取得をめざして参加しました。

開催期間は、オミクロン株による新型コロナウイルス感染が拡大する時期と重なりましたので、受講生の検温、手指消毒、マスク着用、会場の換気等の感染防止対策を徹底するとともに、連日の猛暑による熱中症対策にも注意しながら運営しました。



生殖器解剖



精子検査法



発情鑑定

## 普及情報

# 地域の共進会や巡回活動の支援

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、日常生活の様々な行動に制限が設けられてきました。畜産現場においても、各種の会合や打合せのほか、長年実施してきた家畜の改良や飼養管理の成果を競う牛、豚、鶏卵の共進会、地域住民との共存を図るための畜舎環境巡回、ふん尿処理を適切に行うための施設管理共励会などの開催が見送られてきました。

今年度に入り、参加人数の制限や感染防止対策を徹底することで、それらの活動が再開されつつあります。また、畜産物の消費拡大や理解醸成のためのPR活動も少しずつ再開されています。普及指導課では、審査員や補助員として運営に参加するとともに、地域からの要請を受けて企画段階から活動を支援しています。

以前と同様の開催ではありませんが、畜産農家が日頃の努力の成果が発揮できるように、今後も飼養管理等の助言指導を継続してまいります。



乳牛共進会（平塚市）



鶏卵共進会（藤沢市）



畜産環境巡回（横須賀市）

発行 神奈川県畜産技術センター

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/g8f/index.html>

〒243-0417 海老名市本郷3750 電話(046)238-4056

ファクシミリ(046)238-8634

